

研究に関するお知らせ

研究の名称：胃癌治療がビタミン B12 吸収に与える影響に関する後方視的研究

■研究目的・方法・対象

胃切除術に伴う栄養吸収の変化については数多くの報告があり、なかでも胃全摘後のビタミンB12吸収障害は、悪性貧血や神経障害を来し、健康上大きな問題となります。近年の胃癌治療法の多様化(噴門側胃切除や胃亜全摘などの機能温存術式・鏡視下手術の普及・術後補助化学療法)が、ビタミンB12の吸収にどのような影響を与えるのかについて十分な知見はありません。

そこで、噴門側胃切除や胃亜全摘といった胃全摘回避術式や術後補助化学療法などの治療が、ビタミンB12吸収に与える影響を検討致します。

■研究期間

承認日～2025年12月31日まで

■研究対象・研究に用いる情報の種類

2010年1月1日から2025年12月31日までの間に、胃癌にて当院で手術加療を実施した症例の治療情報を電子カルテから抽出します。抽出する具体的な項目として、①術前栄養状態、②根治手術術式・再建方法・病理学的進行度、③術後補助化学療法・④再発などの臨床病理学的因子と、⑤血中ビタミンB12濃度、⑥ビタミンB12製剤投与歴、⑦その他血液学的因子(Fe、葉酸、ビタミンB1)予定しております。経過中のビタミンB12値推移と、各種臨床病理学的因子との相関を検討致します。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究では、症例を匿名化してデータを収集致します。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。みなさまに新たにご負担頂くことはございません。当研究への協力を希望されない場合は、研究担当者までお問い合わせ下さい。

■研究責任者：

京都医療センター外科 畑 啓昭

■お問い合わせ先

京都医療センター外科

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

電話：075-641-9161

■掲示場所・交付場所

京都医療センター外科ホームページへ掲載